

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

### 事業名 食品産業の輸出向け HACCP 等対応施設整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2896)

E-mail：[c11444@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11444@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 100,000 千円 (前年度予算額：75,000 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	75,000	75,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・食品産業の輸出力強化を図るためには、HACCP 等の国際規格・認証の取得が極めて重要である。
- ・このため、国庫補助事業を活用し、県内の食品製造事業者等を対象に、HACCP 等に対応した施設整備を支援する。

### (2) 事業内容

- ・加工食品等の輸出拡大に必要な製造・加工、流通等の施設の新設及び改修、機器の整備

[補助対象者] 食品製造事業者、食品流通事業者、中間加工事業者等

### (3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助 (1/2 以内)

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	100,000	事業実施予定：3事業者
合計	100,000	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019年3月策定）  
3（1）④ 「ぎふブランド」づくり（情報発信・販路拡大）
- ・新たなぎふ農業・農村基本計画（2021年3月策定予定）  
（3）ぎふ農畜水産物のブランド展開 ①輸出拡大の強化

#### (2) 国・他県の状況

令和2年度から実施した農林水産省の補助事業である。  
他県採択状況の公表はない。

#### (3) 後年度の財政負担

全額国庫補助のため、財政負担はない。

# 事業評価調書（県単独補助金を除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

#### ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

輸出先のニーズに対応した HACCP 等の基準を満たすため、食品製造事業者等の施設の改修及び新設、機器の整備に対する支援により、県全体の輸出力の更なる強化を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
飛騨牛の年間輸出量 (kg)	330 (H20)	1,071 (H22)	23,484 (H27)	51,680 (R1)	100,000 (R7)	% 51.9
鮎の年間輸出量 (kg)	15 (H25)	70 (H26)	420 (H27)	1,314 (R1)	10,000 (R7)	% 13.1
富有柿の年間輸出量 (t)	11 (H20)	10 (H22)	47 (H27)	51.9 (R1)	100 (R7)	% 51.9

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （前年度の取組）

3 地区（飛騨ミート農業協同組合連合会、(株)鈴木栄光堂、森白製菓(株))で事業採択され、HACCP 等の基準を満たす施設改修、機器の整備を行った。

### （前年度の成果）

相手国のニーズや規制等に対応した施設改修、機器の整備により、県全体の輸出量が拡大した。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	今後、急速な人口減少社会を迎え、国内市場の縮小が見込まれる中、農林水産業の所得を確保するために、相手国の基準や海外ニーズに対応した施設及び体制の整備は、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	飛騨牛、富有柿、鮎の輸出量は、順調に伸びており、県の輸出戦略に沿った事業実施の効果が現れている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	事業計画を策定し、採択基準に基づく採点のうえで採択事業者を決定するとともに、事業成果の評価等を行うため、実施の効率性は図られている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 農産物の輸出では、各国が輸入規制や条件を設定しているため、食品製造事業者等の HACCP 等に対応した施設整備の推進が課題となっている。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 相手国の基準や海外ニーズに対応した施設及び体制の整備により、県全体の輸出力の更なる強化を目指す。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	